令和７年５月19日～６月13日実施

男女共同参画と多様性社会に関するアンケート調査結果

担当　北上市まちづくり部地域づくり課

調査期間：令和７年５月19日～６月13日実施
回答方法：インターネット回答及び回答用紙による回答

Q１．回答者について(インターネット回答　240 件　回答用紙による回答　76 件　計 316 件)

Q1-1　居住地について

居住地	n	%
北上市内に居住している。	293	92.7%
北上市外に居住しているが、北上市内に通勤・通学している。	22	7.0%
回答なし	1	0.3%
総計	316	

Q1-2,Q1-3　性別・年代

調査年	R7							
年代 / 性別	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上	総計
男性		9	25	27	15	12	2	90
女性	1	21	38	51	39	36	40	226
総計	1	30	63	78	54	48	42	316
(%)	0.3%	9.5%	19.9%	24.7%	17.1%	15.2%	13.3%	
※R2 総計	17	46	82	114	62	94		415
※R2(%)	4.1%	11.1%	19.8%	27.5%	14.9%	22.7%		

※R2 は年齢回答の上限が 60 歳代以上

＜調査結果＞

Q1-1　居住地

「北上市内に居住している。」が最も多く　92.7%。

他「北上市外に居住しているが、北上市内に通勤・通学している。」が 7.0%、「回答なし」が 0.3%

Q1-2，1-3　回答者性別・年代

男女比：男性 90 件、女性 226 件と女性が 2 倍以上多い。

年代比：男性　30～40 歳代が多く全体の 57.8%

女性　40 歳代が一番多く 22.5%、次いで 70 歳代以上が 17.7%

令和２年調査と比較すると、回答者数は 99 件減少して、男女差が大きく開いている。

調査年	R7		R2	
性別	n	%	n	%
男性	90	28.5%	189	45.7%
女性	226	71.5%	225	54.3%
計	316		414	

Q1-4　世帯構成

調査年	R7		R2	
家族構成	n	%	n	%
単身世帯	39	12.3%	34	8.3%
配偶者と２人暮らし	73	23.1%	71	17.3%
二世代世帯 （親と子）	151	47.8%	206	50.1%
三世代世帯 （親と子と孫）	45	14.2%	82	20.0%
その他	7	2.2%	18	4.4%
回答なし	1	0.3%		
総計	316		411	

＜調査結果＞

Q１-4　世帯構成

親子２世帯が最も多い。47.8%次いで配偶者と二人暮らしが23.1%となっている。

Q1-4-1　65 歳以上の世帯員について

「いる」が 44.9%、「いない」が 53.8%となっている。

Q1-4-2　日常生活に介助や介護を必要としている人について

「いない」が 63.9%、現在はいないが過去に介護経験があるが14.2%

「いる」【同居・別居】が合わせて 20.9%となっている。

Q1-4-3　18 歳以下の世帯員について

「いる」が 37.3%、「いない」が 60.1%となっている。

Q1-4-1　６５歳以上の世帯員(本人含む)について

調査年	R7		R2	
65 歳以上	n	%	n	%
いる	142	44.9%	184	44.9%
いない	170	53.8%	226	55.1%
回答なし	4	1.3%		0.0%
総計	316		410	

Q1-4-2　日常生活に介助や介護を必要としている人について

調査年	R7		R2	
介護が必要な人	n	%	n	%
いる［同居］	30	9.5%	46	11.4%
いる［別居］	36	11.4%	42	10.4%
現在はいないが、過去に介護経験がある	45	14.2%	45	11.2%
いない	202	63.9%	269	66.9%
回答なし	3	0.9%		
総計	316		402	

Q1-4-3　18 歳以下の世帯員(自身も含む)について

調査年	R7		R2	
18 歳以下	n	%	n	%
いる	118	37.3%	188	46.7%
いない	190	60.1%	215	53.3%
回答なし	8	2.5%		
総計	316		403	

Q1-5　回答者の主な職業

調査年	R7		R2	
回答者職業	n	%	n	%
会社員	41	13.0%	166	40.3%
会社経営	5	1.6%	9	2.2%
公務員・団体職員	179	56.6%	45	10.9%
自営業 （農林水産業）	2	0.6%	8	1.9%
自営業 （農林水産業以外）	4	1.3%	25	6.1%
パート、派遣社員、 内職、アルバイト	31	9.8%	70	17.0%
専業主婦[主夫]	16	5.1%	38	9.2%
学生	2	0.6%	19	4.6%
無職	30	9.5%	32	7.8%
その他	6	1.9%		
総計	316		412	

＜調査結果＞

Q1-5　回答者の主な職業

　会社員・会社経営・公務員・団体職員・自営業・パート社員等が合計　82.9%

　専業主婦(主夫)、学生、無職が合計　17.1%

Q1-6　配偶者の職業　※配偶者は内縁のパートナーを含む

調査年	R7		R2	
パートナー職業	n	%	n	%
配偶者がいない・同居していない	84	26.6%	104	27.0%
同じ職場に勤務	22	7.0%	27	7.0%
フルタイムで別の職場に勤務	120	38.0%	151	39.2%
パートタイムで別の職場に勤務	22	7.0%	62	16.1%
専業主婦［主夫］	21	6.6%	18	4.7%
学生	0	0.0%	3	0.8%
無職	29	9.2%	18	4.7%
その他	15	4.7%	2	0.5%
回答なし	3	0.9%		
総計	316	100.0%	385	

＜調査結果＞

Q1-6　配偶者(パートナー)の職業

　同じ職場に勤務、フルタイムで別の職場に勤務、パートタイムで別の職場に勤務が合計　52.0%

　専業主婦(主夫)、学生、無職、その他が合計　13.9%

Q2．男女共同参画・多様性社会推進・多文化共生社会に関する用語の認知度。

調査年	R7			n=316	R2		
事項	知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	回答なし	知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない
1:固定的性別役割分担意識	37.3%	16.5%	44.3%	1.9%			
2:ワーク・ライフ・バランス	69.9%	19.6%	8.5%	1.9%			
3:LGBT	83.5%	6.0%	8.9%	1.6%	60.7%	11.5%	27.8%
4:パートナーシップ宣誓制度	62.7%	14.6%	21.2%	1.6%			
5:多文化共生社会	57.0%	15.2%	25.9%	1.9%			

項目	性別		n=316
1:固定的性別役割分担意識	男性	女性	総計
知っている	46.7%	33.6%	37.3%
聞いたことはあるが内容は知らない	16.7%	16.4%	16.5%
知らない	36.7%	47.3%	44.3%
回答なし	0.0%	2.7%	1.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

項目	性別		n=316
2:ワーク・ライフ・バランス	男性	女性	総計
知っている	90.0%	61.9%	69.9%
聞いたことはあるが内容は知らない	7.8%	24.3%	19.6%
知らない	2.2%	11.1%	8.5%
回答なし	0.0%	2.7%	1.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

＜調査結果＞

Q2 男女共同参画・多文化共生社会に関する用語の認知度について

「知っている」の割合は高い順に

「LGBT」、「ワーク・ライフ・バランス」、「パートナーシップ宣誓制度」、「多文化共生社会」、「固定的性別役割分担意識」となっている。

「LBGT」について「知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と回答した人は、令和２年の 72.2%から増加して令和７年は 89.5%となっている。

項目	性別		n=316
3:LGBT	男性	女性	総計
知っている	94.4%	79.2%	83.5%
知らない	1.1%	8.0%	6.0%
聞いたことはあるが内容は知らない	3.3%	11.1%	8.9%
回答なし	1.1%	1.8%	1.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

項目	性別		n=316
4:パートナーシップ宣誓制度	男性	女性	総計
知っている	73.3%	58.4%	62.7%
知らない	12.2%	15.5%	14.6%
聞いたことはあるが内容は知らない	14.4%	23.9%	21.2%
回答なし	0.0%	2.2%	1.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

項目	性別		n=316
5:多文化共生社会	男性	女性	総計
知っている	73.3%	50.4%	57.0%
知らない	7.8%	18.1%	15.2%
聞いたことはあるが内容は知らない	17.8%	29.2%	25.9%
回答なし	1.1%	2.2%	1.9%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

Q3-1.　北上市で暮らす外国人は増えたと感じますか。

調査年		R7					
北上市で暮らす外国人は増えたと感じますか	区分	大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	ほとんど感じない	分からない	回答なし
	全体	49.1%	40.2%	7.3%	0.6%	2.2%	0.6%
	男性	48.9%	44.4%	5.6%	0.0%	1.1%	0.0%
	女性	49.1%	38.5%	8.0%	0.9%	2.7%	0.9%

Q3-2.　地域社会に外国人が増えることをどう思いますか。

調査年		R7					
地域社会に外国人が増えることをどう思いますか	区分	好ましい	どちらかといえば好ましい	どちらかといえば好ましくない	好ましくない	どちらともいえない	回答なし
	全体	10.8%	27.5%	16.5%	9.5%	34.8%	0.9%
	男性	8.9%	22.2%	20.0%	14.4%	34.4%	0.0%
	女性	11.5%	29.6%	15.0%	7.5%	35.0%	1.3%

＜調査結果＞
Q3-1，3-2 地域社会で暮らす外国人について
北上市で暮らす外国人が増えたと感じているかについて「大いに感じる」、「ある程度感じる」が合わせて 89.3%となっている。
また、外国人増えることについては、
「好ましい」、「どちらかといえば好ましい」が合わせて 38.3%　男女では女性が 10 ポイント多い
「どちらかといえば好ましくない」、「好ましくない」が合わせて 26.0%　男女では男性が 11.9 ポイント多い。
「どちらともいえない」が 34.8%
となっている。

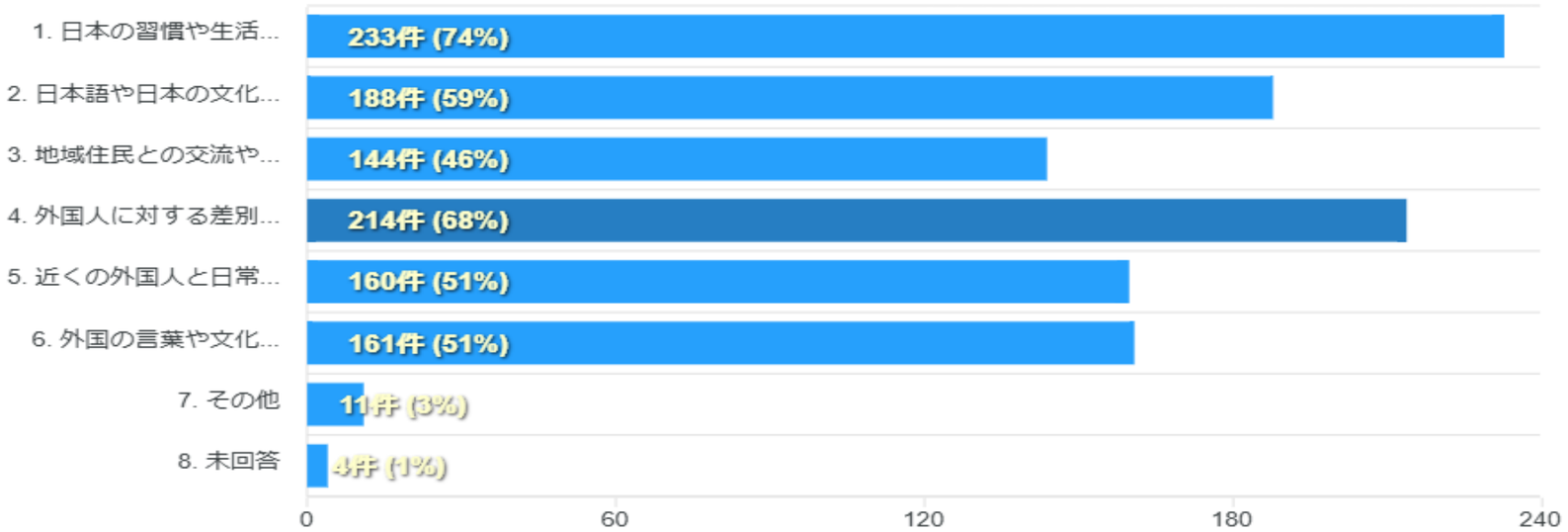
Q3-3. あなたのイメージ・認識として、地域社会や職場等は次の人にとって「暮らしやすい」と思いますか。

調査年		R7				n=316	R2			
項目	区分	暮らしやすい	やや暮らしやすい	やや暮らしにくい	暮らしにくい	回答なし	暮らしやすい	やや暮らしやすい	やや暮らしにくい	暮らしにくい
1:外国籍・外国出身の人	全体	6.6%	32.0%	39.6%	18.4%	3.5%	4.5%	35.7%	42.5%	17.3%
	男性	6.7%	27.8%	42.2%	22.2%	1.1%	4.9%	31.3%	43.4%	20.3%
	女性	6.6%	33.6%	38.5%	16.8%	4.4%	4.2%	39.5%	41.4%	14.9%
2:日本語を読むことが難しい人	全体	1.6%	7.6%	43.0%	43.4%	4.4%	0.2%	17.7%	47.9%	34.2%
	男性	3.3%	3.3%	42.2%	50.0%	1.1%	0.0%	15.8%	46.2%	38.0%
	女性	0.9%	9.3%	43.4%	40.7%	5.8%	0.5%	19.4%	49.5%	30.6%
3:LGBT	全体	5.1%	17.4%	47.2%	27.2%	3.2%	2.8%	18.5%	46.8%	31.9%
	男性	7.8%	16.7%	48.9%	25.6%	1.1%	2.8%	16.0%	49.2%	32.0%
	女性	4.0%	17.7%	46.5%	27.9%	4.0%	2.8%	20.7%	44.6%	31.9%
4:妊婦とその家族	全体	15.5%	48.7%	24.7%	7.6%	3.5%	16.7%	46.0%	29.4%	8.0%
	男性	15.6%	50.0%	21.1%	11.1%	2.2%	15.8%	41.5%	33.3%	9.3%
	女性	15.5%	48.2%	26.1%	6.2%	4.0%	17.4%	49.5%	26.1%	6.9%
5:乳幼児がいる家族	全体	18.7%	47.5%	24.1%	6.3%	3.5%	15.8%	47.0%	29.8%	7.5%
	男性	20.0%	50.0%	18.9%	10.0%	1.1%	14.2%	43.2%	33.3%	9.3%
	女性	18.1%	46.5%	26.1%	4.9%	4.4%	17.1%	50.0%	26.9%	6.0%
6:介護が必要な人がいる家族	全体	6.6%	37.0%	36.7%	17.1%	2.5%	6.5%	33.7%	44.2%	15.6%
	男性	8.9%	36.7%	35.6%	17.8%	1.1%	7.1%	32.8%	42.1%	18.0%

	女性	5.8%	37.2%	37.2%	16.8%	3.1%	5.9%	34.7%	45.7%	13.7%
7:ひとり親家庭	全体	8.9%	34.5%	41.8%	12.0%	2.8%				
	男性	8.9%	30.0%	46.7%	12.2%	2.2%				
	女性	8.8%	36.3%	39.8%	11.9%	3.1%				

Q3-4.　多文化共生社会実現のために必要だと感じることについて

1.日本の習慣や生活ルールを守る
2.日本語や日本の文化を学ぶ
3.地域住民との交流や地域の活動に参加するようにする
4.外国人に対する差別意識を持たないようにする
5.近くの外国人と日常的なあいさつをする
6.外国の言葉や文化・習慣を学ぶ
7.その他



＜調査結果＞

Q3-3　暮らしやすさについて

「暮らしやすい」、「やや暮らしやすい」を合わせた割合が高い順に

「乳幼児がいる家族」、「妊婦とその家族」、「介護が必要な人がいる家族」、「ひとり親家庭」、「外国籍・外国出身の人」、「LGBT」、「日本語を読むことが難しい人」、となっている。

Q3-4　多文化共生社会の実現に必要なこと(複数回答)

回答数が多い順に、「日本の習慣や生活ルールを守る」、「外国人に対する差別意識を持たないようにする」、「日本語や日本の文化を学ぶ」、「近くの外国人と日常的なあいさつをする」、「外国の言葉や文化・習慣を学ぶ」、「地域住民との交流や地域の活動に参加するようにする」となっている。

Q4．あなた自身またはあなたの周囲（家庭・地域・職場等）における認識について

	調査年	R7			n:男性 90　女性 226　計 316		R2			
項目	区分	十分行っている	行っているが十分ではない	行いたいと思っているが、実際には行っていない	行いたいと思っていないし、実際に行っていない	回答なし	十分行っている	行っているが十分ではない	行いたいと思っているが、実際には行っていない	行いたいと思っていないし、実際に行っていない
1:あなたは家庭において家事などを行っていますか	全体	57.3%	37.0%	3.2%	1.3%	1.3%	40.7%	44.8%	11.9%	2.7%
	男性	41.1%	50.0%	6.7%	2.2%	0.0%	19.7%	55.3%	19.1%	5.9%
	女性	63.7%	31.9%	1.8%	0.9%	1.8%	58.5%	35.7%	5.8%	0.0%

	調査年	R7			n:男性 46　女性 94　計 140		R2			
項目	区分	十分行っている	行っているが十分ではない	行いたいと思っているが、実際には行っていない	行いたいと思っていないし、実際に行っていない	回答なし	十分行っている	行っているが十分ではない	行いたいと思っているが、実際には行っていない	行いたいと思っていないし、実際に行っていない
2:あなたは家庭において子育てを行っていますか	全体	62.9%	27.1%	2.1%	3.6%	4.3%	54.0%	37.9%	4.3%	3.8%
	男性	50.0%	45.7%	2.2%	0.0%	2.2%	30.1%	54.8%	8.6%	6.5%
	女性	69.1%	18.1%	2.1%	5.3%	5.3%	72.9%	24.6%	0.8%	1.7%

	調査年	R7			n:男性 19　女性 44　計 63		R2			
項目	区分	十分行っている	行っているが十分ではない	行いたいと思っているが、実際には行っていない	行いたいと思っていないし、実際に行っていない	回答なし	十分行っている	行っているが十分ではない	行いたいと思っているが、実際には行っていない	行いたいと思っていないし、実際に行っていない
3:あなたは家庭において介護を行っていますか	全体	19.0%	42.9%	15.9%	11.1%	11.1%	21.9%	33.3%	31.3%	13.5%
	男性	31.6%	31.6%	26.3%	5.3%	5.3%	13.0%	32.6%	30.4%	23.9%
	女性	13.6%	47.7%	11.4%	13.6%	13.6%	30.0%	34.0%	32.0%	4.0%

	調査年	R7				n:男性 90 女性 226 計 316		R2				
項目	区分	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	回答なし	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
4:「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどう思いますか	全体	2.5%	10.8%	25.3%	50.3%	10.4%	0.6%	3.4%	20.6%	27.8%	28.8%	19.4%
	男性	4.4%	15.6%	25.6%	40.0%	14.4%	0.0%	5.3%	24.3%	23.8%	28.0%	18.5%
	女性	1.8%	8.8%	25.2%	54.4%	8.8%	0.9%	1.8%	17.0%	31.4%	29.6%	20.2%

	調査年	R7				n:男性 90 女性 226 計 316		R2				
項目	区分	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	回答なし	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	どちらともいえない
5:あなたの周囲で女性の能力は十分活用されていると思いますか	全体	13.9%	34.2%	15.5%	7.6%	27.2%	1.6%	6.5%	22.0%	22.0%	10.4%	39.0%
	男性	16.7%	43.3%	7.8%	6.7%	24.4%	1.1%	9.0%	22.2%	36.5%	22.8%	9.5%
	女性	12.8%	30.5%	18.6%	8.0%	28.3%	1.8%	4.5%	22.0%	40.8%	21.5%	11.2%

＜調査結果＞

Q4　家庭・地域・職場等における認識について

2，3 の育児・介護の回答数 n は「その状況にない」と回答した人を除いたものである。

家事・子育て・介護を「十分に行っている」と回答した男性はいずれも令和 2 年度調査より増えている。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた回答の割合(75.6%)は、令和 2 年度調査(56.6%)より増えている。

男女で比較すると、「どちらかといえば反対」、「反対」と回答した人の割合は、男性の方が少なくなっている。

「女性の能力が十分活用されているか」について「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答の割合は、令和 2 年度調査より増えている。

Q5．あなたの周囲での地域活動（自治会・ボランティア活動・趣味等のサークル等）における、性差について。

	調査年	R7 n:男性 90　女性 226 計 316						R2				
項目	区分	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位	回答なし	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位
1:様々な地域活動への参加のしやすさ	全体	16.5%	30.1%	47.2%	3.8%	0.9%	1.6%	7.7%	26.2%	57.4%	7.2%	1.5%
	男性	15.6%	27.8%	51.1%	3.3%	2.2%	0.0%	9.8%	25.0%	58.2%	6.5%	0.5%
	女性	16.8%	31.0%	45.6%	4.0%	0.4%	2.2%	5.9%	27.4%	56.6%	7.8%	2.3%
2:地域活動での重要事項の決定	全体	29.4%	41.1%	27.2%	0.3%	0.3%	1.6%	17.4%	40.8%	39.3%	2.2%	0.2%
	男性	28.9%	35.6%	32.2%	1.1%	1.1%	1.1%	19.7%	33.9%	44.3%	1.6%	0.5%
	女性	29.6%	43.4%	25.2%	0.0%	0.0%	1.8%	15.6%	46.8%	34.9%	2.8%	0.0%

＜調査結果＞
Q5　地域活動における性差について
「男性が優位」、「やや男性が優位」を合わせた割合と「性差はない」の割合を令和２年度調査と比較すると、
「参加のしやすさ」、「重要事項の決定」ともに、「男性が優位」、「やや男性が優位」が多くなっている。

Q6-1　回答者が所属する事業所・法人等の規模

	調査年	R7　n=268	R2
所属する事業所・法人等の規模	家族のみ	0.7%	3.8%
	５人以下	1.5%	6.3%
	６人～１０人	4.1%	11.7%
	１１人～３０人	9.7%	21.5%
	３１人～５０人	6.0%	12.0%
	５１人～１００人	7.5%	11.0%
	１０１人以上	26.5%	33.8%
	回答なし	44.0%	

＜調査結果＞回答数ｎは、全回答者の内職業が「会社員・会社経営・公務員・団体職員・自営業・パート社員等」と回答した人としている。
Q6-1　回答者が所属する事業所・法人等の規模
割合が多い順に「１０１人以上」、「１１人～３０人」、「３１人～５０人」、「６人～１０人」、「５１人～１００人」、「５人以下」、「家族のみ」となっている。

Q6-2　職場・事業所・法人等における性差について

調査年		R7 n:男性 87　女性 181 計 268						R2				
項目	区分	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位	回答なし	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位
1:業務での重要事項の決定	全体	14.6%	21.3%	56.0%	1.1%	4.5%	2.6%	21.5%	28.4%	47.9%	0.6%	1.6%
	男性	9.2%	20.7%	65.5%	1.1%	2.3%	1.1%	22.4%	30.4%	46.0%	0.0%	1.2%
	女性	17.1%	21.5%	51.4%	1.1%	5.5%	3.3%	20.6%	25.8%	50.3%	1.3%	1.9%

調査年		R7 n:男性 87　女性 181 計 268						R2				
項目	区分	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位	回答なし	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位
2:賃金	全体	10.4%	9.7%	76.5%	0.0%	0.4%	3.0%	12.5%	20.5%	67.0%	0.0%	0.0%
	男性	5.7%	4.6%	86.2%	0.0%	1.1%	2.3%	11.4%	22.2%	66.5%	0.0%	0.0%
	女性	12.7%	12.2%	71.8%	0.0%	0.0%	3.3%	13.7%	19.0%	67.3%	0.0%	0.0%

調査年		R7 n:男性 87　女性 181 計 268						R2				
項目	区分	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位	回答なし	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位
3:休暇制度の利用のしやすさ	全体	1.1%	1.1%	81.3%	7.5%	6.0%	3.0%	1.6%	4.8%	76.8%	11.1%	5.7%
	男性	0.0%	1.1%	79.3%	10.3%	8.0%	1.1%	2.5%	5.0%	72.5%	13.1%	6.9%
	女性	1.7%	1.1%	82.3%	6.1%	5.0%	3.9%	0.6%	4.5%	81.2%	9.1%	4.5%

調査年		R7 n:男性 87　女性 181　計 268						R2				
項目	区分	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位	回答なし	男性が優位	やや男性が優位	性差はない	やや女性が優位	女性が優位
4:昇進・人事評価	全体	9.0%	19.4%	65.3%	0.7%	1.1%	4.5%	10.9%	25.2%	61.3%	1.9%	0.6%
	男性	3.4%	19.5%	70.1%	1.1%	3.4%	2.3%	11.9%	24.5%	59.1%	3.1%	1.3%
	女性	11.6%	19.3%	63.0%	0.6%	0.0%	5.5%	9.8%	26.1%	62.1%	0.7%	0.0%

Q6-3　職場・事業所・法人等における制度の有無と活用状況

調査年		R7 n:男性 87　女性 181　計 268						R2				
項目	区分	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	回答なし	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない
1:育児休暇	全体	47.8%	34.7%	4.9%	3.7%	7.1%	1.9%	27.9%	28.8%	16.0%	15.0%	12.2%
	男性	47.1%	41.4%	5.7%	1.1%	3.4%	1.1%	21.0%	30.9%	20.4%	12.3%	15.4%
	女性	48.1%	31.5%	4.4%	5.0%	8.8%	2.2%	35.3%	26.9%	11.5%	17.3%	9.0%

調査年		R7 n:男性 87　女性 181　計 268						R2				
項目	区分	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	回答なし	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない
2:介護休暇	全体	24.3%	40.7%	13.8%	4.5%	14.2%	2.6%	8.5%	27.3%	18.8%	17.9%	27.6%
	男性	40.2%	42.5%	8.0%	1.1%	6.9%	1.1%	9.3%	25.9%	21.6%	16.0%	27.2%
	女性	16.6%	39.8%	16.6%	6.1%	17.7%	3.3%	7.7%	28.8%	16.0%	19.2%	28.2%

＜調査結果＞回答数 n は、全回答者の内職業が「会社員・会社経営・公務員・団体職員・自営業・パート社員等」と回答した人としている。

Q6-2　職場・事業所・法人等における性差について

「性差がない」の割合が高い順に、「休暇制度の利用のしやすさ」、「賃金」、「昇進・人事評価」、「業務での重要事項の決定」となっている。

「男性が優位」、「やや男性が優位」を合わせた割合と「性差はない」の割合を令和 2 年度調査と比較すると、いずれも「性差はない」の割合が増加している。

調査年		R7 n:男性 87　女性 181　計 268						R2					
項目	区分	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	回答なし	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	
3:時短勤務制度	全体	28.7%	34.0%	14.6%	8.2%	12.3%	2.2%	17.3%	22.3%	12.9%	28.6%	18.9%	
	男性	29.9%	36.8%	16.1%	4.6%	10.3%	2.3%	17.3%	19.8%	13.0%	30.9%	19.1%	
	女性	28.2%	32.6%	13.8%	9.9%	13.3%	2.2%	17.4%	25.2%	12.9%	25.8%	18.7%	

調査年		R7 n:男性 87　女性 181　計 268						R2					
項目	区分	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	回答なし	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	
4:フレックスタイム	全体	7.1%	26.1%	15.3%	24.3%	24.6%	2.6%	7.9%	13.2%	10.1%	45.9%	23.0%	
	男性	10.3%	35.6%	16.1%	18.4%	17.2%	2.3%	10.4%	16.0%	11.7%	40.5%	21.5%	
	女性	5.5%	21.5%	14.9%	27.1%	28.2%	2.8%	5.2%	10.4%	8.4%	51.3%	24.7%	

調査年		R7 n:男性 87　女性 181　計 268						R2					
項目	区分	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	回答なし	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	
5:テレワーク・在宅勤務	全体	2.6%	12.3%	17.9%	41.0%	23.5%	2.6%	1.9%	2.8%	5.4%	70.3%	19.6%	
	男性	5.7%	14.9%	24.1%	29.9%	24.1%	1.1%	3.1%	3.7%	6.1%	66.9%	20.2%	
	女性	1.1%	11.0%	14.9%	46.4%	23.2%	3.3%	0.7%	2.0%	4.6%	73.9%	19.0%	

調査年		R7 n:男性 87　女性 181　計 268						R2					
項目	区分	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	回答なし	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	
6:兼業・副業制度	全体	3.0%	9.0%	11.6%	52.2%	22.0%	2.2%	1.6%	12.5%	5.0%	61.3%	19.7%	
	男性	3.4%	10.3%	14.9%	54.0%	16.1%	1.1%	1.8%	11.0%	8.6%	58.9%	19.6%	
	女性	2.8%	8.3%	9.9%	51.4%	24.9%	2.8%	1.3%	14.1%	1.3%	63.5%	19.9%	

調査年		R7 n:男性 87　女性 181　計 268						R2					
項目	区分	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	回答なし	積極的に活用されている	制度が使える状況である	制度はあるが使いにくい	制度がない	わからない	
7:子の看護休暇	全体	53.0%	22.8%	4.1%	7.1%	10.1%	3.0%						
	男性	63.2%	23.0%	3.4%	2.3%	6.9%	1.1%						
	女性	48.1%	22.7%	4.4%	9.4%	11.6%	3.9%						

＜調査結果＞回答数 n は、全回答者の内職業が「会社員・会社経営・公務員・団体職員・自営業・パート社員等」と回答した人としている。

Q6-3　職場・事業所・法人等における制度の有無と活用状況

「積極的に活用されている」、「制度が使える状況である」を合わせた割合が高い順に、「育児休暇」、「子の看護休暇」、「介護休暇」、「時短勤務制度」、「フレックスタイム」、「テレワーク・在宅勤務」、「兼業・副業制度」となっている。

また、令和 2 年調査と比較して高くなったものは、「育児休暇」、「介護休暇」、「時短勤務制度」、「フレックスタイム」、「テレワーク・在宅勤務」となっている。

Q6-4　事業所・法人等における外国籍労働者について

調査年		R7 n=268					R2			
項目	区分	いる	過去はいたが今はいない	いない	わからない	回答なし	いる	過去はいたが今はいない	いない	わからない
外国籍労働者の有無	全体	17.5%	1.1%	57.1%	22.0%	2.2%	16.1%	4.1%	68.5%	11.4%
	男性	24.1%	3.4%	48.3%	23.0%	1.1%	19.9%	3.7%	64.6%	11.8%
	女性	14.4%	0.0%	61.3%	21.5%	2.8%	12.2%	4.5%	72.4%	10.9%

Q6-5　職場・事業所・法人等における国籍による差の有無について現状及び今後の予想

項目	調査年	R7 n:男性 87　女性 181　計 268						R2				
1:業務での重要事項の決定	区分	日本人が優位	やや日本人が優位	国籍の差はない	やや外国人が優位	外国人が優位	回答なし	日本人が優位	やや日本人が優位	国籍の差はない	やや外国人が優位	外国人が優位
	全体	36.9%	19.0%	36.6%	0.0%	0.4%	7.1%	33.9%	22.9%	43.2%	0.0%	0.0%
	男性	37.9%	12.6%	43.7%	0.0%	1.1%	4.6%	32.9%	23.4%	43.7%	0.0%	0.0%
	女性	36.5%	22.1%	33.1%	0.0%	0.0%	8.3%	34.4%	22.5%	43.0%	0.0%	0.0%

項目	調査年	R7 n:男性 87　女性 181　計 268						R2				
2:賃金	区分	日本人が優位	やや日本人が優位	国籍の差はない	やや外国人が優位	外国人が優位	回答なし	日本人が優位	やや日本人が優位	国籍の差はない	やや外国人が優位	外国人が優位
	全体	17.2%	11.6%	63.4%	0.0%	0.4%	7.5%	17.8%	22.7%	59.5%	0.0%	0.0%
	男性	10.3%	11.5%	71.3%	0.0%	1.1%	5.7%	17.7%	25.3%	57.0%	0.0%	0.0%
	女性	20.4%	11.6%	59.7%	0.0%	0.0%	8.3%	18.0%	19.3%	62.7%	0.0%	0.0%

項目	調査年	R7 n:男性 87　女性 181　計 268						R2				
3:昇進・人事評価	区分	日本人が優位	やや日本人が優位	国籍の差はない	やや外国人が優位	外国人が優位	回答なし	日本人が優位	やや日本人が優位	国籍の差はない	やや外国人が優位	外国人が優位
	全体	20.5%	17.9%	53.7%	0.0%	0.4%	7.5%	21.5%	27.0%	51.5%	0.0%	0.0%
	男性	16.1%	17.2%	59.8%	0.0%	1.1%	5.7%	21.5%	27.2%	51.3%	0.0%	0.0%
	女性	22.7%	18.2%	50.8%	0.0%	0.0%	8.3%	21.6%	26.4%	52.0%	0.0%	0.0%

＜調査結果＞回答数 n は、全回答者の内職業が「会社員・会社経営・公務員・団体職員・自営業・パート社員等」と回答した人としている。

Q6-4　事業所・法人等における外国籍労働者について、

「いる」、「過去はいたが今はいない」を合わせた割合は、16.6%と令和 2 年度調査 20.2%より低下している。

Q6-5　国籍による差の有無について現状及び今後の予想

「国籍の差はない」の割合が高い順に、「賃金」、「昇進・人事評価」、「業務での重要事項の決定」の順となっている。

「日本人が優位」、「やや日本人が優位」を合わせた割合と「国籍の差はない」の割合を令和 2 年調査と比較すると、「賃金」、「昇進・人事評価」において「国籍の差はない」の割合が増加している。

Q7. 日常生活における、【仕事】【家庭生活】【地域・個人の生活】の優先度について

	調査年	R7					n=316	R2				
区分	項目	【仕事】を優先	どちらかといえば【仕事】を優先	同じように両立	どちらかといえば【家庭】【地域・個人等】を優先	【家庭】【地域・個人等】を優先	回答なし	【仕事】を優先	どちらかといえば【仕事】を優先	同じように両立	どちらかといえば【家庭】【地域・個人等】を優先	【家庭】【地域・個人等】を優先
全体	希望	2.8%	6.3%	42.4%	21.5%	22.8%	4.1%	4.1%	13.2%	44.0%	23.9%	14.8%
	現実	17.1%	36.1%	23.7%	13.6%	5.1%	4.4%	18.2%	38.9%	22.6%	16.3%	4.1%
男性	希望	4.4%	12.2%	40.0%	12.2%	28.9%	2.2%	6.8%	16.1%	46.0%	18.0%	13.0%
	現実	26.7%	35.6%	22.2%	10.0%	3.3%	2.2%	26.5%	41.4%	20.4%	8.6%	3.1%
女性	希望	2.2%	4.0%	43.4%	25.2%	20.4%	4.9%	1.3%	10.3%	41.7%	30.1%	16.7%
	現実	13.3%	36.3%	24.3%	15.0%	5.8%	5.3%	9.60%	35.9%	25.0%	24.4%	5.1%

調査年度	希望と現実が一致	不本意ながらワークを優先	不本意ながらライフを優先
R7　n=302	41.4%	53.6%	5.0%
R2	40.3%	54.1%	5.7%
H22	30.3%	53.7%	15.9%

＜調査結果＞

Q7　仕事・家庭生活・地域・個人の生活の優先度について

希望

R2 年調査：どちらかといえば【家庭】【地域・個人等】を優先＋【家庭】【地域・個人等】を優先(38.7%)＜同じように両立(44.0%)

R7 年調査：同じように両立(42.4%)＜どちらかといえば【家庭】【地域・個人等】を優先＋【家庭】【地域・個人等】を優先(44.3%)

現実

R2 年調査：同じように両立(22.6%)＜どちらかといえば【仕事】を優先＋【仕事】を優先(57.1%)　　差 34.5 ポイント

R7 年調査：同じように両立(23.7%)＜どちらかといえば【仕事】を優先＋【仕事】を優先(53.2%)　　差 29.5 ポイント

希望と現実が一致している人の割合　令和 7 年調査回答数 n は回答しなかった人を除いている。

H22 年調査 30.3%→R2 年調査 40.3%→R7 年調査 41.4%となっている

Q8．DV 等についての認識

調査年		R7			n=316	R2		
項目	区分	生じている	生じていない	この用語を知らない	回答なし	生じている	生じていない	この用語を知らない
1:ドメスティックバイオレンス(DV)	全体	7.3%	87.3%	1.6%	3.8%	4.5%	92.8%	2.7%
	男性	5.6%	94.4%	0.0%	0.0%	2.2%	94.1%	3.8%
	女性	8.0%	84.5%	2.2%	5.3%	6.5%	91.7%	1.8%
2:デート DV	全体	1.9%	82.0%	11.1%	5.1%	0.7%	71.0%	28.2%
	男性	2.2%	87.8%	10.0%	0.0%	0.0%	65.4%	34.6%
	女性	1.8%	79.6%	11.5%	7.1%	1.4%	75.7%	22.9%
3:パワーハラスメント	全体	23.1%	72.5%	0.6%	3.8%	20.4%	78.6%	1.0%
	男性	23.3%	76.7%	0.0%	0.0%	20.0%	78.4%	1.6%
	女性	23.0%	70.8%	0.9%	5.3%	20.8%	78.7%	0.5%
4:セクシュアルハラスメント	全体	15.8%	78.5%	0.9%	4.7%	9.7%	89.3%	1.0%
	男性	12.2%	87.8%	0.0%	0.0%	9.7%	88.7%	1.6%
	女性	17.3%	74.8%	1.3%	6.6%	9.7%	89.8%	0.5%
5:LGBT 等ハラスメント	全体	7.3%	84.8%	3.2%	4.7%			
	男性	7.8%	91.1%	1.1%	0.0%			
	女性	7.1%	82.3%	4.0%	6.6%			

＜調査結果＞

Q8　DV 等における認識について

　用語について知らないと回答した人の割合が低い順に、「パワーハラスメント」、「セクシュアルハラスメント」、「ドメスティックバイオレンス(DV)」、「LGBT 等ハラスメント」、「デート DV」となっている。

　令和 2 年調査で「この用語を知らない」と回答した割合を比較すると、いずれも減少している。

Q8．DV 等相談窓口の認知度

相談窓口	調査年	R7			n=316	R2		
項目	区分	使ったことがある	知ってはいるが使ったことはない	知らない	回答なし	使ったことがある	知ってはいるが使ったことはない	知らない
1:ドメスティックバイオレンス(DV)	全体	1.3%	56.3%	39.2%	3.2%	2.0%	52.0%	46.0%
	男性	1.1%	54.4%	44.4%	0.0%	0.5%	48.6%	50.8%
	女性	1.3%	57.1%	37.2%	4.4%	3.2%	54.6%	42.2%
2:デート DV	全体	0.6%	41.1%	53.5%	4.7%	0.0%	37.4%	62.6%
	男性	1.1%	42.2%	55.6%	1.1%	0.0%	34.8%	65.2%
	女性	0.4%	40.7%	52.7%	6.2%	0.0%	39.4%	60.6%
3:パワーハラスメント	全体	1.6%	63.3%	31.0%	4.1%	2.0%	54.8%	43.3%
	男性	2.2%	62.2%	34.4%	1.1%	1.6%	56.6%	41.8%
	女性	1.3%	63.7%	29.6%	5.3%	2.3%	53.0%	44.7%
4:セクシュアルハラスメント	全体	0.3%	61.7%	33.9%	4.1%	1.2%	55.1%	43.6%
	男性	1.1%	61.1%	37.8%	0.0%	0.0%	57.7%	42.3%
	女性	0.0%	61.9%	32.3%	5.8%	2.3%	52.8%	45.0%
5:LGBT 等ハラスメント	全体	0.3%	46.2%	48.7%	4.7%			
	男性	1.1%	46.7%	52.2%	0.0%			
	女性	0.0%	46.0%	47.3%	6.6%			

＜調査結果＞

Q8　DV 等相談窓口の認知度

令和 2 年調査 54%→令和 7 円調査 57.6%と横ばい状態となっている。